

1. 評価結果概要表

作成日平成19年10月25日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 2970101511
法人名	社会福祉法人 大和清寿苑
事業所名	なら清寿苑
所在地	奈良市田中町602-1 (電話)0742-50-6332
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成19年9月27日

【情報提供票より】(19年8月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 1月 10日
ユニット数	2 ユニット
職員数	15 人
利用定員数計	18 人
常勤	8 人
非常勤	6 人
常勤換算	10.9 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り
	4階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	45,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(350,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	700 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(9月27日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	9 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83 歳	最低	75 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	奈良東病院・うおずみ歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

奈良市南東部の丘陵地の広大な敷地に、病院を核として、医療・福祉総合ゾーンを整備された中に開設されました。ホーム内は、各所の清掃が行き届き、室温調整や採光についても適切になされ穏やかに過ごせる環境が整っています。利用者は、能力に応じて役割の分担や楽しみに通ずる場面作りがなされ、自由な暮らしに安心感を覚えておられます。なお、従事者も、運営理念を念頭にしっかりと支援されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題としては、生活環境については、落ち着いた雰囲気醸成に工夫が見られます。また、実現するまでに至っていない課題としては、地域密着型サービスに制度改正されたことにより、地域との交流がより求められてきたことから、グループホームに対する理解・協力を得るために一層の広報活動の充実に努められることが望まれます。なお、食事について検査がされていますが、利用者と同じ食事をするの意義等にも留意されることが望まれます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価に対する意義・目的を正しく認識されていますが、サービスの質の向上を目指すとき、自己評価はより多くの職員の参画を得て取り組まれることを期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、設置の趣旨に沿って定期的に開催され、運営上の課題解決等に十分機能を果たしています。しかし、行政との連携は不可欠と考えられますので、会議への出席要請と共に、その関りを一層強められることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の意見・苦情・不安への対応については、担当責任者が決められていますが、全ての職員が家族の訪問時に話しかけ、意見等の聴取に努め、職員会議で検討する仕組みとされています。なお、ホーム全体の様子を知りたい家族に配慮され、定期刊行物の発行計画がありますが、早期に実現されることを期待します。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	利用者の生活の全てがホーム内で全て完結するものでもありませんので、地域社会との繋がりは極めて重要と考えます。立地環境もありますが、積極的な取り組みを期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念はホーム独自のものが作られており、利用者の暮らしを活かした支援に努められています。		医療機関や福祉サービス事業者とも連携し、利用者の安心・満足と信頼の確保にむけて支援されていますが、地域との関りの重要性を認識されていますので、地域密着型サービスに位置づけられたことから、運営理念について、見直し・検討が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関のに入った所に、分かりやすい文字で運営理念が掲出されており、支援の中での意識付けと行動等に活かす様に努められています。また、定例の会議において確認し合う取り組みがなされています。		
2. 地域との支えあい					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者は、同一敷地内にある他の福祉サービス利用者等との交流がなされているものの、立地環境もあり、地域との交流が希薄になっていると感じられます。また、事業者も困難と考慮しておられるところが見られます。		運営推進会議においても、地域社会との関りの大切さを議論されており、利用者一人ひとりが地域と繋がりがながら生活が継続できるような取り組みを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価に対する目的・意義については正しく認識されており、評価結果を基に支援に活かす姿勢が伺えます。なお、外部評価結果を運営推進会議に報告され、改善の機会とされています。		自己評価を一部の職員で検討されていますが、全員で取り組むことで、質の向上により大きな効果が期待できますので、今後の課題と考えられます。
	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	定例的に開催され、運営上の諸課題について幅広く意見交換され、提起された問題について検証され、支援に活かす取り組みがされています。		運営推進会議のメンバーに行政も入っていますが、欠席がちとなっています。地域密着型サービスの現状を正しく理解を頂く為に、積極的に参画を働きかけられることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスとして、行政の認識が変わりつつありますが、十分連携が図られているところまでには至っていません。		行政担当者も、地域密着型サービスとしての位置づけを認識されていることから、ホームの運営上の課題解決や実態を理解される上でその連携は不可欠です。一層の理解・協力を得るため積極的に働きかけされることが望まれます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等との信頼関係や協力関係を維持するために、その訪問時に利用者の生活や心身の状況を伝えられており、急変時には必ず電話連絡することが徹底されています。		個人個人への対応は丁寧になされていますが、家族等の気持としてホーム全体の様子を知りたい方のために、定期刊行物の発行計画がなされていますので、早期に実現されることを期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の面会時等に、職員から積極的に話し掛け意見・要望を聞きだす取り組みがされているほか、投書箱の設置があり、寄せられた事項を職員会議に図り、サービスに反映するよう努められています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット毎に職員の固定化はされていませんが、利用者との馴染みによる信頼関係の構築はケアする上で極めて大切と認識されており、法人内での異動には極力配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で定期的な研修が実施され、専門的知識や技術の習得に努められているほか、外部の研修に参加したときには、レポートを提出し、職員に周知する事とされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人が運営する他の施設等との交流や情報交換はなされていますが、同業他社との交流は希薄と感じられます。		同業者との交流や情報交換の機会を持つ事は、サービスの質と職員資質の向上に大きな効果が期待できますので、積極的に取り組まれることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用に当たり、家族と一緒に見学の機会を提供し、本人の気持や希望を基に、必要に応じ利用者と共に過ごす時間を設けたり、職員と会話を交わす等安定的な利用に繋がる取り組みがなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、尊厳の確保・利用者と共に生活する等の運営理念を常に意識し、孤独感や不安感を抱かせることなく、穏やかに生活できるよう、調理・趣味の時間等様々な工夫し支援されています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントでの本人・家族の希望や意向とともに、生活の中の言葉や行動あるいは、興味を示された事項を全て蓄積され、暮らしに活かす取り組みがなされています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	暮らしの中の課題分析と家族の意向を反映し、本人本位の介護計画となるよう職員で検討・作成されています。		本人からの希望や思いの確認が困難とされ、家族の意向が優先しているように思われますが、本人の意向も確認するように工夫されることを期待します。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の暮らしの状況を詳細に記録され、行動の変化やレベル低下が感じられる時には、家族に連絡されると共に、関係者と相談され随時に見直しされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況を勘案して、外泊支援や特殊車両の使用等弾力的な対応がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の病院での受診を基本とされていますが、利用者の希望には家族の協力を得て、かかりつけ医の受診に応じることとされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への対応は大きな課題と認識されていますが、その具体的な支援内容が固まるところまで至っていません。		利用者や家族には、大きな関心事でありますので、関係者が協議され、その方針を明確にし、安心した生活の確保に努められることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人内での定期的な研修において、個人情報の保護やプライバシーに関する学習がなされているほか、日々の関りの中で常に心がけ、点検・徹底に努められています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活の流れについて設定されていますが、本人本位の支援に立ち、入浴・食事等の時間帯についても弾力的に運用されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作りや調理の準備、また、下・配膳等利用者の能力に合わせた役割もあり、楽しい雰囲気の中で食事がされています。		職員は、利用者と同じテーブルに着き食事を摂られていますが、弁当持参となっており、提供された食事に関する会話が少なく思われます。食事は、栄養面での事もありますが、調理に関った喜びや楽しみを満たす面も考慮され、同じ食事にされることが望まれます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、ユニット毎に曜日をきめて支援されています。また、時間帯についても、利用者に希望や状態を考慮され弾力的に対応されています。		利用者の生活習慣に配慮され、夜間にも入浴支援出来るよう、職員のローテーションを工夫され、利用者の希望に応えていかれることを期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	暮らしの中から、活力を引出すことの大切さを十分認識されており、生活歴や能力・希望を勘案し、喜びや楽しみが実感できる場面作りに努められています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者を数グループに分け、広い敷地内の散歩やドライブに出掛けられているほか、定期的に外食にも行かれる等外出機会の確保が図られています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害について正しく理解されており、玄関の施錠は無く、訪問者も気軽に出入りが出来るようになっていきます。利用者の見守りをしっかりされ、安全確保が図られています。なお、出入りの確認のためチャイムが取り付けられています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の緊急連絡体制の整備はもとより、火災時における避難訓練も実施されています。		地震等災害時における地元住民への応援協力体制の整備と緊急時に必要とする物品の備蓄について検討されることが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量や水分補給については、記録表が作成され、適切に支援されています。また、定期的に体重測定が実施され、健康管理に配慮されています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、常に清掃され清潔に保たれ、室温についても空調により適温が確保されているほか、適所に椅子やベンチが設置され、居心地よく過ごすために工夫されています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、利用者の好みの物や家具等が持ち込まれ、安心して暮らせる空間となっています。なお、多くの家具等の持ち込みにより不安感を覚えられる方には、家族と相談され最小限に止めるなど工夫がなされています。</p>		